



ときは今！



6年前、熊本市現代美術館で数内佐斗司の釈迦十大弟子彫像展を見て以来仏像が好きになった。その翌年だったか唐招提寺の国宝鑑真和上坐像が東京上野の国立博物館で展示されることを知って、本当は夫と見に行く予定にしていた。

ところが何かの都合で行けなくなり、あえなく断念。あきらめた。行きたくてもそう簡単には行けないので仏像の本を買った。仏像は誰かに似ている。東大寺の広目天、多聞天はプロ野球の大魔神・佐々木主浩に似ている。私は彼のファンなのである。

2008年、石川遼の試合から目

このコーナーは、皆さんで作っていただくコーナーです。日ごろ感じていること、体験したことなどを自由に発言していただくため、題名は特に決めていません。次回の方は、執筆者の紹介で登場していただきます。

が離せなかった。4月のマスターズが今から楽しみだ。遼君は私の大好きな東寺の帝釈天にどこか似ている。十二神将や四天王、金剛力士像などは、表情がおもしろい。わくわくして飽きない。

興福寺の天燈鬼、龍燈鬼にいたっては、まるで漫才だ。いつ見ても笑ってしまう。夜、寝がけに見る時など、周りに聞こえないよう声をこらしてひとり大笑いをする。

夫が退職して、私も子育てから解放されたら必ず見に行こうと心に決めていた。

この3月私は子育てを終え、夫は定年退職を迎える。「時は今！敵は本能寺にあり！」ならぬ、めざすは福井県永平寺！まずはご先祖様に敬意を表し、先祖が眠る禅宗の総本山永平寺へ行き、夫の無事の定年を報告しよう！そして奈良唐招提寺へ行き国宝鑑真和上を拝そう。

それから京都東寺の帝釈天様に会いに行こう。すべてはここから！これからこそが真の人生ぞ！

今回は下砥川の坂田すま子さんに登場していただきます。

地名編

歴史の変遷と地名

木山中学の校庭の林の中に一基の頌徳碑が建っています。正面に「安田市太郎先生頌徳碑」とあり、裏面には次の碑文が彫られ、全文は次の通りです。

「安田先生は明治十五年旧福田村に誕生、同三十七年範門を出て町内は元より郡内小学校訓導又は校長を歴任、大臣表彰従七位勲八等瑞宝章、奏任官校長など初等教育界の明星と輝く。尚各地実科高女校長を勤めては女子教育に専念。五十有余年の歳月を全く教育文化産業の各方面に貢献し、現在八十三才の高令を以って老人会長を勤め老人福祉の高揚にその真価を発揮せらる。茲に子弟友人相謀りこの碑を建てその高德を永く讃ふ。」

昭和四十二年四月吉日

碑文起草委員 撰

牛島正樹書

(原文は句読点無し、適宜挿入)

先生は明治十五年七月十日福田村福原で誕生され昭和五十二年十二月二十三日九十五歳を以て逝去されました。

昭和五十三年十二月益城町は名誉町民に推しました。その



木山中校庭の林の中に建つ頌徳碑

益城町文化財を訪ねる会

会長 松野國策